

# 話題提供・コメント

- 政策研究の層を拡充することの重要性
  - ・・・ NISTEPにおけるデータを活用した政策研究の経験とSciREX「データ・情報基盤構築」の取り組みに基づく示唆
- データ整備・活用を阻害する要因をめぐる考察

# 考察：日本の過去20年における“Evidence-based policy”の進展（データの整備・活用という側面について）

## ■ 進展したこと

- Bibliometric指標の政策への活用、オスロマニュアル準拠のイノベーション統計データ、フルタイム換算データ、など
- 行政部局によるデータ収集・活用
  - 大学発ベンチャー、大学における企業との共同研究、etc
- 大学や公的研究機関におけるデータの活用
  - IRやURAの活動（あるいは大学の戦略策定）におけるデータの活用
- “エビデンスに基づいたSTI政策”や“政策のための科学”が重要テーマに
- 第5期科学技術基本計画で、21の指標と8つの目標値が設定

## ■ 進展しなかった（あるいは進展が不十分な）こと

- 科学技術人材データ、科学技術予算データを分析する仕組み
- **“現状把握”に留まっており、“科学的な分析”という点では不十分**

# NISTEPデータ・情報基盤の所外における活用例 (一部)

- 青木周平, 木村めぐみ, 「日本の大学の論文生産性分析」, 財務省財務総合政策研究所「フィナンシャル・レビュー」, 平成28年第3号(通巻第128号), 2016年11月.  
[大学別のマイクロデータを活用]
- 馬場靖憲, 西岡潔, 柴田友厚, 七丈直弘, 「顧客満足に向けたリーンなコーポレート研究: 日本企業の潜在力評価」, 研究・イノベーション学会 第31回年次学術大会(講演要旨集p.822), 2016年11月6日. [企業名辞書を活用]
- 岡田吉美, 長岡貞男, 内藤祐介, 「『失われた20年』に日本企業が取得した特許の価値の検証」, 一橋ビジネスレビュー, 2016.SPR. [企業名辞書を活用]
- 吉岡徹, 渡部俊哉, 「組織境界を越えた知識探索の成果定着と研究コンソーシアムの関係ーNEDOプロジェクト成果特許の実証分析ー」, 東京大学知的資産経営総括寄付講座(IAM), IAM Discussion Paper Series #37, 2014年8月. [企業名辞書を活用]
- Isamu Yamauchi, Koichiro Onishi, and Takamasa Suzuki (2014) "How to trace mobile inventors in the Japanese patent data? A unique name approach", IIPR Discussion Paper 2014-001. [企業名辞書を活用]

## 日本の国立大学の論文生産性分析<sup>\*1</sup>

青木 周平<sup>\*2</sup>  
木村 めぐみ<sup>\*3</sup>

### 要 約

2000年代以降、他国に比べ、日本の論文数が伸び悩んでいることが、科学・技術政策の関係者の間で問題視されている。筆者らは、この問題を分析するために、経済学における成長会計を応用して、日本の論文数の変化を要因分解する手法を開発した。本稿では、この手法を用いて、2000年代の日本の国立大学の論文生産に何がプラスもしくはマイナスに寄与しているかを分析した結果を報告する。

キーワード：成長会計，論文生産性，研究時間，資源配分

JEL Classification：C43, D24, D61

# データの公開や相互連結・標準化を阻害するもの

## 研究開発ファンディング機関の場合：

- データを公開してもメリットが無い
  - むしろ、データを用いた安易な評価がなされる恐れがある
- データの相互連結・標準化には、多大な調整コストが必要
  - 各ファンディング機関の状況・事情は様々
  - 日本のシステムの弱点？
- 根底にあるのは、評価のあり方の問題？
  - 改善のための評価ではなく、“短絡的”な評価
  - “評価の文化”が成熟していない

# 定量データの研究評価・科学技術政策への活用をめぐる世界における議論

- 定量データ(特に科学計量学)の研究評価・科学技術政策への活用は、世界的にも2000年頃から急速に進展
  - 日本でも、“研究力”の指標としての活用が急速に進展…
- 定量データの研究評価・科学技術政策への適用に際しての注意点・問題点についての最近の議論
  - *San Francisco Declaration on Research Assessment*
  - *Leiden Manifest for Research Metrics*
  - *The Metric Tide*
- 警鐘の主なポイント
  - 過度の単純化、測定が困難なことの軽視の問題
  - 定量データは、あくまで専門家の判定の補助とすべき
  - 指標(定量データ)が研究行動を歪める問題

